第Ⅴ章

『花いっぱい幸せな町』

富田東小学校５年　長廣（ながひろ）　沙弥佳（さやか）さん

緑化重点地区

第Ⅴ章では、周南市の中でも特に緑化を推進すべき地区を緑化重点地区と設定し、各地区の課題と重点的に進める緑化の方針を示しています。

１．緑化重点地区とは

２．緑化重点地区の計画

２－１　永源山公園周辺地区

２－２　中心市街地周辺地区

２－３　周南緑地周辺地区

第Ⅴ章　緑化重点地区

１．緑化重点地区とは

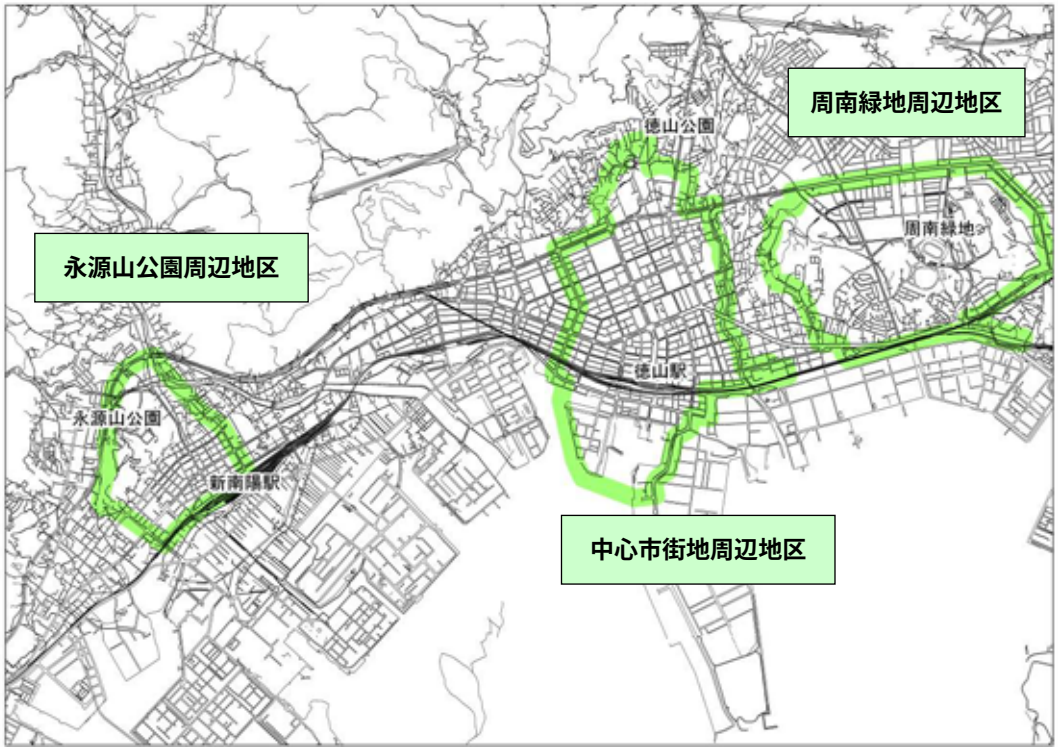
緑化重点地区は、緑の基本計画の創設に伴い設けられた制度で、緑地の保全及び緑化の推進を重点的に図る地区として、各種事業を積極的に展開し、緑の基本計画が目指す緑の将来像を目に見える形でモデル的に具体化するものです。

積極的に緑化事業を展開することにより、市民の緑化意識の高揚を促すとともに、緑化重点地区自体が都市の骨格的な緑を構成する一部となります。

緑化重点地区は、まちのシンボルとなる地区、都市環境・景観の形成において特に重要な地区、現況においてまとまった緑が少ない地区、都市防災において緑の確保が必要な地区、地域コミュニティといった観点から一体的に整備する必要がある地区等が考えられます。

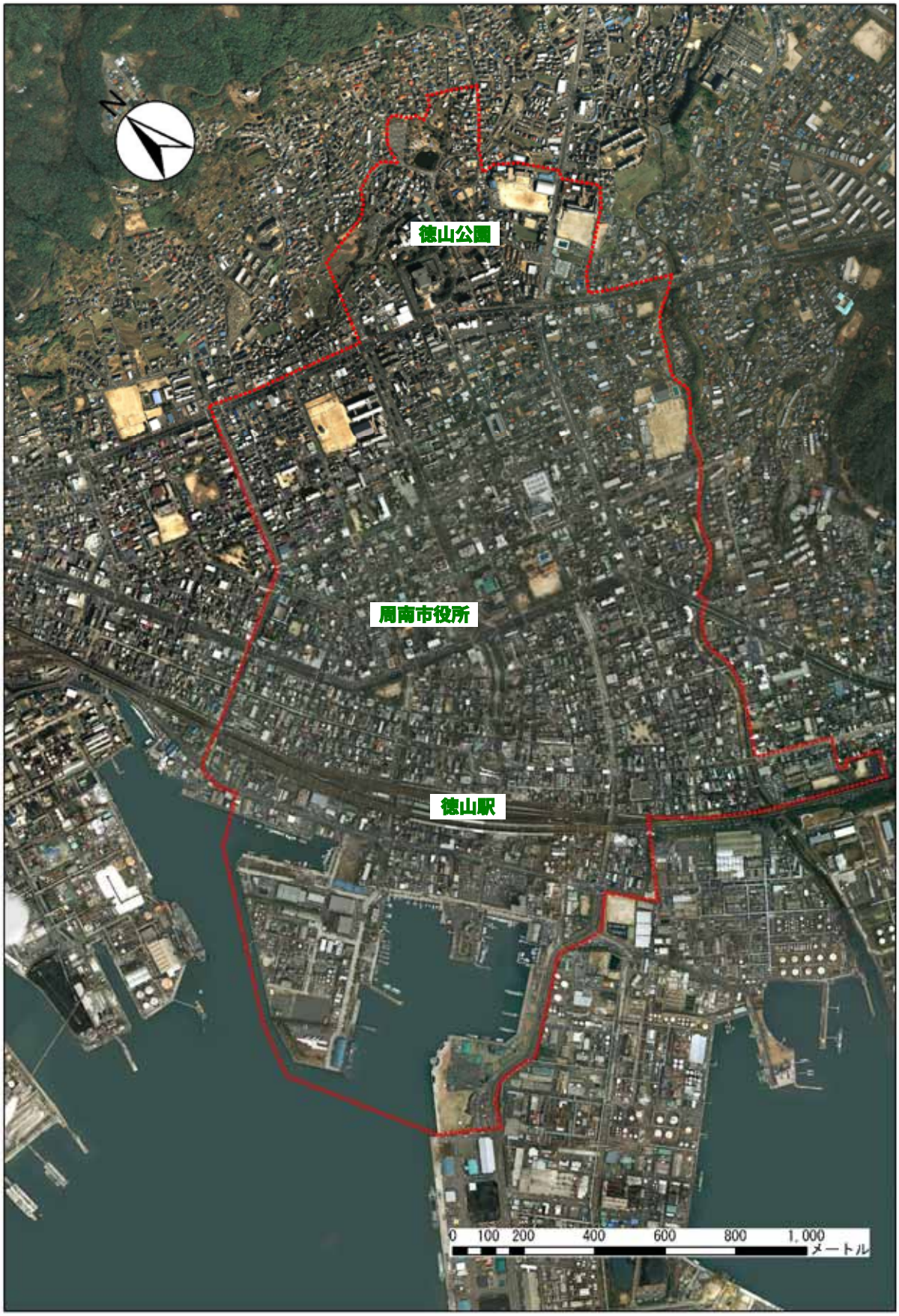
周南市緑の基本計画においては、これまでの緑化施策や都市計画事業の進捗を踏まえつつ、まちの個性を特徴づける地区、ハード・ソフト事業を含めモデル的な緑化が行える地区、市民とともに緑をいかしたうるおいのあるまちづくりの拠点となる地区として、次の３つの地区を緑化重点地区として設定します。

（１）　永源山公園周辺地区
（２）　中心市街地周辺地区
（３）　周南緑地周辺地区



【緑化重点地区の設定】

【永源山公園周辺地区】



【中心市街地周辺地区】

【周南緑地周辺地区】

２．緑化重点地区の計画

２－１　永源山公園周辺地区

永源山公園周辺地区は、ＪＲ新南陽駅の北側に位置しており、周南市唯一の総合公園である自然豊かな永源山公園が存在します。また、商業・業務施設、公共公益施設が集積しており、多くの人々が来訪・交流している地区です。しかし、古くから市街地を形成している区域は都市基盤整備の遅れが目立つところもあることから、緑化の推進を図る意義は大きく、既存のまちなみをいかしつつ、都市基盤施設の整備とあわせた積極的な緑化により快適な市街地の形成が期待される地区です。

（１）地区の課題

・永源山公園の未整備地区の整備・保全
・公共施設の緑化推進
・地区内の既設公園の整備・充実
・ＪＲ新南陽駅を起点とした、地区内の一体性・回遊性の確保
・永源山公園の地域防災拠点としての機能の充実

（２）地区緑化の基本方針

永源山公園周辺地区は、多くの人々が来訪・交流する地区として、緑化の推進を図るとともに、都市基盤施設の整備とあわせた緑化を促進します。

永源山公園は、周南市唯一の総合公園であり、市民の憩いの場として多様なレクリエーション機能の充実と、緑の保全を図るとともに、都市防災機能の充実に努めます。

“ゆめ風車のライトアップ”

“ゆめ風車のチューリップ”

“夢虫基地”

【永源山公園】

【都市の骨格となる緑の保全】

- 市街地の中において緑豊かな自然環境を保持している永源山公園の樹林地について、適切な維持・管理による保全に努めます。

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 地区内を流れる神代川について、ビオトープに配慮した多自然型護岸の整備や親水性の向上を図ります。

【神代川】

【利用者の多様なニーズに対応した緑づくり】

- 永源山公園は、多様なニーズに対応したレクリエーション機能の充実を図るとともに、エントランスの整備によりＪＲ新南陽駅など多方面からのアクセスの向上を図ります。
- 地区内の既設公園はもとより、歩道、公共施設、交通機関等について、ユニバーサルデザインによる整備・リニューアルを推進し、地区内を歩いて回遊できる道路の整備を図ります。

【身近なオープンスペースの確保】

- 既設のポケットパークについては地域住民との協働による維持・管理を図ります。また、ＪＲ新南陽駅と永源山公園を結ぶシンボル的な道路空間をいかしたポケットパークの配置に努めます。

【ポケットパーク】

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

- 道路緑化やコミュニティ道路、案内板やベンチ等のストリートファニチャーの設置により、うるおいのあるまちなみを醸し出す歩行者空間を形成し、地区内の緑のネットワークを創出します。
- 体育館や図書館等、多くの人々が来訪・交流する施設を中心に、積極的に緑化を促進します。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 永源山公園は、地域防災拠点として、防災機能の充実に努めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- ＪＲ新南陽駅の駅前ロータリーを花と緑で彩り、地区の玄関口・顔となる魅力を創出します。また、駅を起点としてシンボル的な通りの形成を進めます。

【新南陽停車場線・ゆめ風車通り】

【協働による緑のまちづくりの推進】

- 緑化に対する意識の啓発を図り、周辺の事業者、地域住民、商店街等の協力により、うるおいと華やかさのある緑化の推進、また、街路樹や花壇の適切な維持・管理を図ります。

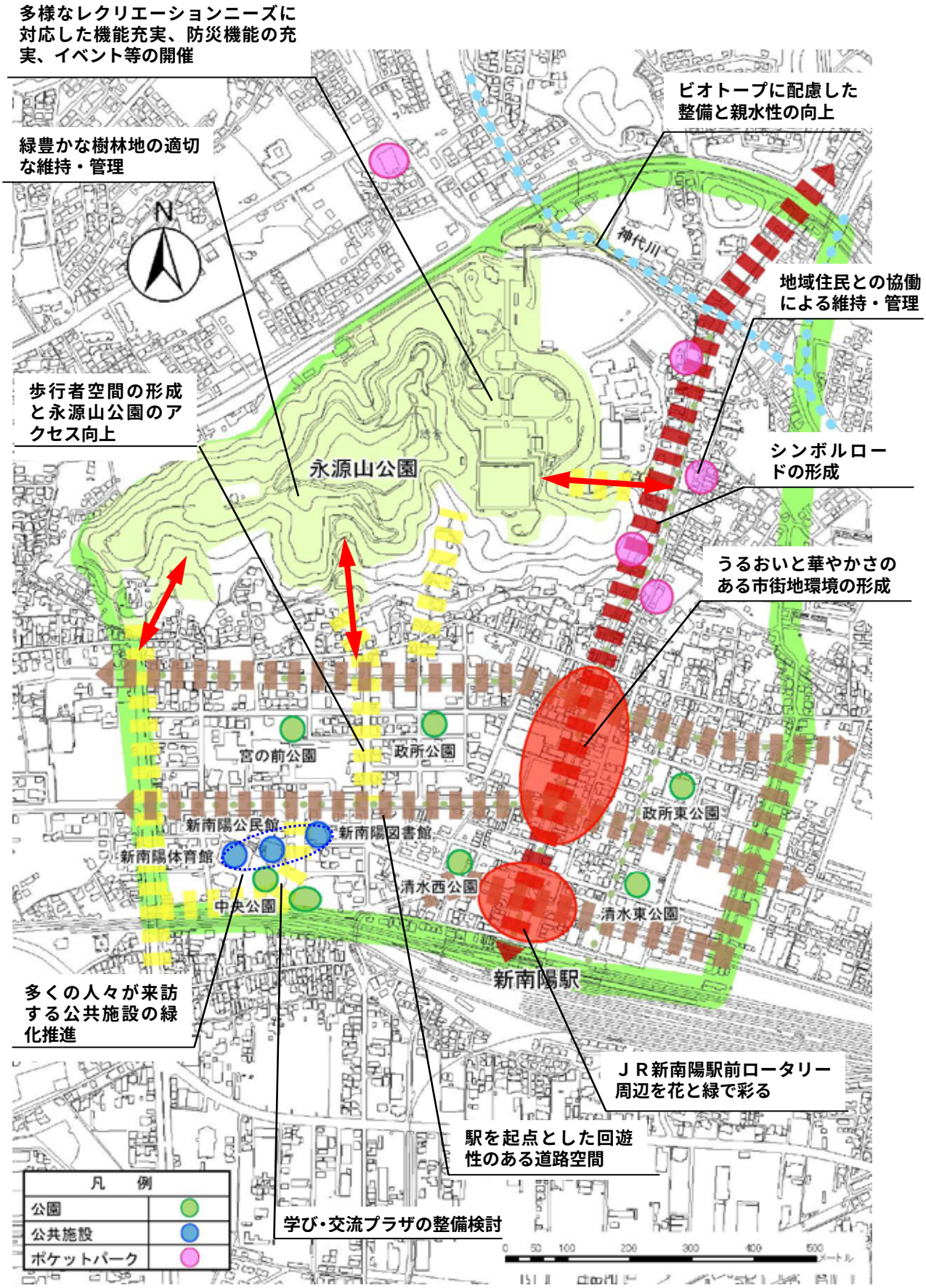
【緑を守り、増やすための人づくり】

- 永源山公園を核として、「つつじ祭り」や「ゆめ風車祭り」といったイベントをいかし、緑化に関する講習会等を開催することにより、市民の緑化意識の高揚を図ります。

【永源山公園つつじ祭り　５月】

【永源山公園ゆめ風車祭り　１０月】

【サンフェスタ新南陽】


多様なレクリエーションニーズに対応した機能充実、防災機能の充実、イベント等の開催
ビオトープに配慮した整備と親水性の向上
緑豊かな樹林地の適切な維持・管理
地域住民との協働による維持・管理
歩行者空間の形成と永源山公園のアクセス向上
シンボルロードの形成
うるおいと華やかさのある市街地環境の形成
多くの人々が来訪する公共施設の緑化推進
ＪＲ新南陽駅前ロータリー周辺を花と緑で彩る
駅を起点とした回遊性のある道路空間
学び・交流プラザの整備検討
N
神代川
永源山公園
宮の前公園
政所公園
政所東公園
新南陽公民館
新南陽図書館
新南陽体育館
中央公園
清水西公園
清水東公園
新南陽駅
凡　例
公園
公共施設
ポケットパーク
0 50 100 200 300 400 500 メートル

２－２　中心市街地周辺地区

中心市街地周辺地区は、徳山港からＪＲ徳山駅、市役所周辺、徳山公園（徳山動物園）に至る都心軸とその周辺部であり、御幸通、岐山通においては、駅前広場から大きく育った緑豊かな街路樹がつながり、周南市のシンボルとなる緑化が行われています。また、徳山港線の桜並木は、うるおいのある歩行者空間を演出し、美術博物館、文化会館、動物園の存在をより引き立てています。

地区内の東側においては、東川沿いに東川緑地公園が整備され、市街地では貴重な親水空間もある地区となっています。

（１）地区の課題

・駅周辺整備事業等の市街地整備と連動した緑化推進
・緑豊かな街路樹の維持・管理、整備・充実
・地区内の既設公園の整備・充実
・文化施設等の連携を意識した地区内の一体性・回遊性の確保
・徳山公園の広域避難地としての機能の充実

（２）地区緑化方針

中心市街地周辺地区は、周南市のシンボルとなる地区であり、駅周辺整備事業等の市街地整備と連動した緑化や、地区内における一体性・回遊性を意識した緑化を図るとともに、市民の参加・協力による緑化を促進します。

徳山公園は、文化会館や動物園を有する総合的な機能をもつ公園として、新たな魅力を創出し、市民が気軽に集える憩いの場として多様なレクリエーション機能の充実と緑の保全を図るとともに、都市防災機能の充実に努めます。

【周南市役所】

【商店街（銀座モール）】

【周南市文化会館】

【徳山動物園】

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 市街地における生物の移動空間を確保するため、緑豊かな街路樹や公園の樹木、東川の水辺を中心に、ビオトープネットワークに配慮した自然豊かな川づくりを進めます。

【利用者の多様なニーズに対応した緑づくり】

- 地区内の既設公園はもとより、歩道、公共施設、交通機関等については、移動等バリアフリー基本構想に基づき、ユニバーサルデザインによる整備を図り、地区内を歩いて回遊できる空間と緑化の一体的な整備を図ります。

【身近なオープンスペースの確保】

- 徳山駅南側から港に至るレクリエーション・交通拠点においては、「徳山下松港ポートルネッサンス２１計画」を促進しつつ、中心市街地との連続性に配慮した、市民や来訪者が集い、憩い、楽しめる空間の創出を図るため、余裕のある道路空間を利用したポケットパークや広場等の整備を推進します。
- 市街地を流れる東川は、貴重な親水空間として、人々に愛され、親しまれる川づくりをめざし、適切な維持・管理に努めます。また、人々が日常的に憩い、散策できる緑の回廊として、東川緑地公園の充実に努めます。

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

- 緑豊かに大きく育った街路樹や、道路の植栽帯、既設の公園について、これらの連続性・一体性に配慮した保全・管理を図ります。また、道路緑化の充実を図ることにより、うるおいのある歩行者空間を形成し、地区内の緑のネットワークを創出します。
- ＪＲ徳山駅や市役所、文化会館・美術博物館、動物園等、多くの人々が来訪・交流する施設を中心に、周南市のシンボルを印象づける緑化を促進します。
- 商店街におけるにぎわいの創出やうるおいのある都市環境の形成に向けて、商業・業務施設の緑化を誘導します。また、スペースの状況に応じて、屋上緑化・壁面緑化の導入を働きかけます。

【青空公園】

【桜のトンネル（徳山港線）】

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 徳山公園を広域避難地として位置づけ、防災機能の充実に努めます。

【緑をいかした市街地のイメージアップ】

- 中心市街地活性化事業と連動した地区内の緑化推進を進め、都市の顔としての魅力の向上、緑のイメージアップを図り、にぎわいの創出に努めます。
- 緑豊かな街路樹がある岐山通・御幸通を含めた都心軸をシンボルロードとして位置づけ、港から駅、中心市街地が一体となった特色ある景観づくりを進めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 平成 22 年に開設 50 周年を迎える徳山動物園について、市民・文化拠点地区における重要な観光資源として交流人口の拡大を目指し、老朽化施設の改善や動物園の使命、来訪者のニーズに応じたリニューアルを検討します。

【協働による緑のまちづくりの推進】

- 岐山通・御幸通をはじめとする街路樹や、公園等については、市民と行政の協働による維持・管理の仕組みづくりを検討します。

【緑を守り、増やすための人づくり】

- 徳山公園等の施設を中心とする各種イベントと連携しつつ、緑化に関する講習会等を開催し、市民の緑化意識の高揚を図ります。

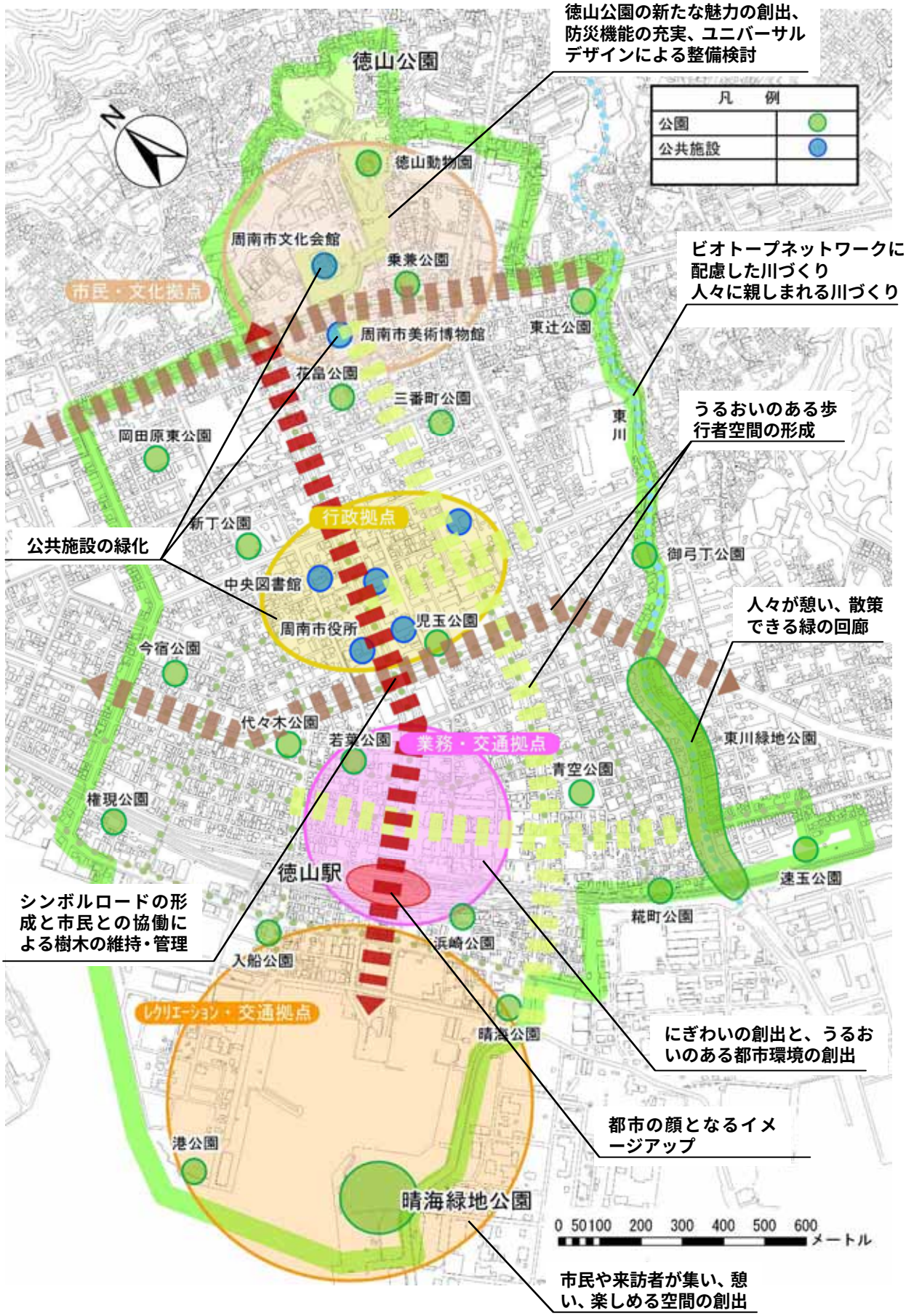
“ キリンのエサやり体験 ”

“ カラスのパフォーマンス ”

“ ゾウのエサやり体験 ”

“ 小動物ふれあい ”

【徳山動物園の「ズーわくわくサンデー」】


徳山公園の新たな魅力の創出、防災機能の充実、ユニバーサルデザインによる整備検討
凡　例
公園
公共施設
徳山公園
徳山動物園
周南市文化会館
乗兼公園
市民・文化拠点
周南市美術博物館
東辻公園
花畠公園
三番町公園
岡田原東公園
東川
ビオトープネットワークに配慮した川づくり
人々に親しまれる川づくり
うるおいのある歩行者空間の形成
新丁公園
行政拠点
公共施設の緑化
御弓丁公園
中央図書館
周南市役所
児玉公園
人々が憩い、散策できる緑の回廊
今宿公園
代々木公園
若草公園
業務・交通拠点
東川緑地公園
青空公園
権現公園
徳山駅
速玉公園
シンボルロードの形成と市民との協働による樹木の維持・管理
糀町公園
浜崎公園
入船公園
レクリエーション・交通拠点
晴海公園
にぎわいの創出と、うるおいのある都市環境の創出
都市の顔となるイメージアップ
港公園
晴海緑地公園
0 50100 200 300 400 500 600
メートル
市民や来訪者が集い、憩い、楽しめる空間の創出

２－３　周南緑地周辺地区

周南緑地周辺地区は、周南市の中核となる公園である周南緑地とその周辺部であり、周南緑地は西緑地、中央緑地、東緑地、遠石緑地、横浜緑地で構成されています。

東緑地と中央緑地には、周南市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、野球場をはじめ多種のスポーツ施設が整備されており、多くの人々に利用されています。また、災害時における防災拠点としての位置づけも重要です。

西緑地は、樹林地が大部分を占めており、市街地における貴重な自然環境を保持しています。そして、この自然環境をいかして万葉の森や菖蒲園等が整備され、市民が自然とふれあい、親しめる空間が創出されています。

（１）地区の課題

・周南緑地のユニバーサルデザインに配慮した施設整備と機能の充実
・子どもからお年寄りまで利用できる、多様なレクリエーションニーズへの対応
・西緑地における貴重な自然環境の保全と活用
・周南緑地の広域防災拠点としての機能の充実
・周辺からのアクセスルートの向上

（２）地区緑化方針

周南緑地は、市街地における貴重な緑であり、市民参画の下、その自然環境の保全に努めるとともに、自然とふれあえる環境学習の場の拠点として、広く活用を図ります。また、市民の憩いの場として、スポーツ・レクリエーション拠点としての施設の充実を図ります。

周南緑地と隣接する周陽公園とともに、災害時等における広域防災拠点としての整備・充実に努めます。

【東緑地の総合スポーツセンターとテニスコート】

【中央緑地の周南フレンドパーク】

【中央緑地と東緑地を結ぶ緑の架け橋】

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 西緑地については、万葉の森をはじめとする樹林地の保全、維持・管理と併せた利活用を図るとともに、エコアッププラン等により、市街地内における貴重なビオトープをいかして、四季を通じて多くの人々が自然とふれあい、癒され、学び、憩い、散策できる空間の創出に努めます。

“大賀ハス”

“リュウキュウチシャノキ”

“茶室”

“徳山桜”

【西緑地】

【利用者の多様なニーズに対応した緑づくり】

- 中央緑地・東緑地については、老朽化した施設のユニバーサルデザインに配慮したリニューアル整備等、時代のニーズに対応した新たな魅力づくりを含め、多くの人々が憩い、楽しめるよう来園者の満足度の向上を図ります。
- 遠石緑地、横浜緑地については、人々にうるおいを与える快適な市街地環境・景観を形成し、住工分離に機能する重要な緑地として、今後とも適切な維持・管理に努めます。
- 周南緑道については、ユニバーサルデザインや避難路としての防災機能に配慮したリニューアルが成されており、今後とも機能に応じた維持・管理に努めます。

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

- 周南緑地周辺の住宅地においては、地区計画制度や緑地協定の締結等による、うるおいのある住環境の質を高める緑化を誘導します。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 東・中央緑地と中央緑地に隣接する周陽公園を一体的な広域防災拠点として有機的につながりをもたせ、自衛隊、消防隊等の大規模な救援部隊の駐留、物資の受け入れ、配送拠点といった防災機能の充実に努めます。機能の充実にあたっては、周辺の消防署、病院等との連携強化に努めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 遠石八幡宮は、地域の歴史・文化的資源のシンボルであり、うるおいのある都市環境の創出や、市街地景観におけるランドマークとなるため、境内地の樹林地の保全を誘導します。

【協働による緑のまちづくりの推進】

- 周南緑地は、様々な市民活動が行われる場でもあるため、市民と行政の協働による緑のまちづくりや市民が参画する都市緑化の仕組みづくりの拠点として位置づけていきます。
- 西緑地を核として活動している公園愛護会について、今後とも資材の提供等により積極的に支援、育成していきます。

【緑を守り、増やすための人づくり】

- 西緑地の樹木見本林や万葉の森を活用し、自然観察会等で樹木や身近な植物の紹介ができる「緑の案内人」を養成し、多くの市民が自然とふれあい、学べる環境づくりを進めます。

【西緑地の樹木観察会】

【西緑地　万葉の森】

【東緑地と西緑地を結ぶ周南緑道】

【住工を分離する遠石緑地と工場緑地】

エコアップ、ビオトープの保全・創出
公園愛護会への支援
緑の案内人等の養成
防災機能（避難路）の充実
１次緊急輸送道路（国道２号）
地区計画や緑地協定等による緑化誘導、支援
樹林地の適切な維持・管理
境内地の樹林地の保全
樹林地の適切な維持・管理
防災機能（広域防災拠点）の充実
スポーツレクリエーション施設の充実
ユニバーサルデザインによる整備
１次緊急輸送道路（県道下松新南陽線）
周南緑地広域スポーツ拠点地区
N
万葉の森
展望台
大賀ハスの池
樹木見本園
西緑地
茶室
キャンプ場
菖蒲園
大内公園
大谷公園
青山公園
遠石緑地
上遠石公園
朝倉２号公園
朝倉公園
周南緑道
周陽公園
中央緑地
岩黒公園
野球場
陸上競技場
東緑地
遠石八幡宮
ソフトボール球場
遠石公園
総合スポーツセンター
テニスコート
五月公園
サッカー場
横浜緑地
0 50 100 200 300 400 500 600 メートル

緑のオアシス　西緑地の歴史

この緑地の中心は京都大学演習林で、最高 65mから 18mのひだの多い山林地である。京都大学演習林は、正式には「京都大学農学部付属演習林徳山試験地」と名称され、昭和５年に大迫田において「徳山砂防演習地」（36 万㎡）を開設したのがその始まりであった。海軍燃料廠の地下貯油タンク建設のため昭和 17 年に東山へ移転し、「徳山試験地」と改めて新発足した。昭和 39 年、周南団地建設用地問題に関連して緑地公園に転換し、演習林代替地は、新たに栄谷の東部にある鉢窪の市有林（天然林約 21 万㎡、人工林約 20 万㎡）が大学に提供され現在にいたっている。

【タカサゴイヌザクラ】

西緑地はこのように長期間、大学演習林であった丘陵地が主体となっているため、国外・国内の各地から移植された貴重な樹木が成長し、全体として自然公園的な緑地である。周南緑地としての造成に伴って、山林内をめぐるハイキングコースの整備、東西２ヶ所の大庭園の築造、樹木の植栽、キャンプ広場・展望台・休憩所・駐車場などに約１億 2,000 万円をかけて整備された。西緑地の特に西側一帯の山林は、旧京都大学演習林としての樹木見本園であり、遊歩道の周辺には 900 種類にのぼる国内・国外産の樹木が成長し、「タカサゴイヌザクラ」のような貴重な樹木もあり、植物園と自然公園を兼ねた性格の貴重な山林緑地である。また緑地の西南端の低地には大庭園が築造されているが、庭内の池の一部には「大賀ハス」がある。これは故大賀一郎博士が千葉県検見川の泥炭層から古代に生育していたハスの種子を発見し、郷里の岡山市で栽培して開花に成功したものである。昭和 51 年５月、徳山市はその分譲を受けてこの緑地で栽培し、夏季になると桃色の花を咲かせている。

この池に隣接して「万葉の森」の庭園がある。古典文化のいぶきがただようこの森は、はじめ徳山文化協会で企画され、これをうけて徳山ロータリークラブが、昭和 50 年に国際ロータリー第 369 地区年次大会を徳山市で開催した記念として築造し、昭和 52 年５月に市に寄贈したものである。1,400 ㎡の庭園には、園路と小川と庭石がたくみに配置され、その周辺一帯に約 130 種類の万葉集の歌に登場する植物が植えられ、それぞれに歌と作者を記した立て札が配置されている。

※徳山市史（下）抜粋

西緑地は、現在３つの公園愛護会を中心に市民共有のみどりの財産として、次の時代へ引き継げるよう市民協働で保全・活用に取り組んでいます。

【西緑地公園愛護会】

【西緑地竹林公園愛護会】

【周南市万葉の森愛護会】